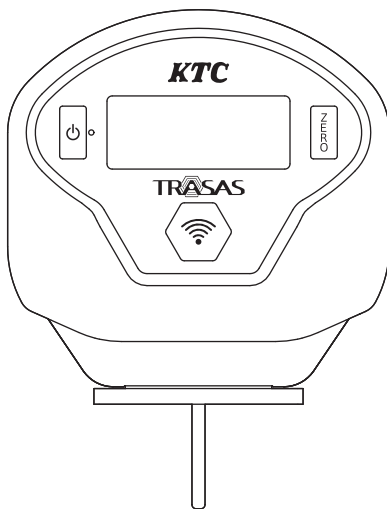


KTC

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただき、安全にご利用ください。

タイヤデプスゲージ GNDA020A 取扱説明書



仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

- 梱包内容をご確認いただき、不足、破損のある場合は、お求めの販売店までお申し出ください。
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- この説明書は必要な時にすぐ読めるように大切に保管してください。

本製品は日本国内仕様です。日本国外では使用することはできません。
許可されていない国で本製品を使用すると、その国の法律違反となります。

使用の前に

- 安全シグナルについて 3
- 安全上の注意 4
- 使用上の注意 4
- 電波の取扱いに関する注意 5
- 使用用途 6
- 入組内容 6
- 各部の名称 6

使用方法

- 使用前の準備 7
- 本体の充電方法 7
- 電源の入れ方 切り方 8
- 端末との接続 8
- 測定準備 11
- 測定方法 12

メンテナンスと保管方法

- 本体のメンテナンス 13
- 保管方法 13
- 校正・アフターサービス 13
- 修理依頼 13
- 本製品の廃棄について 13

故障かな？と思ったら

- 症状と対処法 14

使用の前に

■安全シグナルについて

この取扱説明書には以下のシグナルワードとその他標記記号を使用しています。



誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負うおそれがあります。



誤った取り扱いをした場合、負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

また、各項目にて以下のマークを付けています。



禁止行為を表します。



必ずしてほしい行為を表します。



確認してほしい行為を表します。




警告


死亡または重傷を負うおそれがあります。

- ⓪ 製品本来の使用用途以外には使用しない
- ⓪ 分解および改造しない
- ⓪ 外観上の異常や動作異常が認められた場合は使用しない
- ⓪ 無理な姿勢で使用しない
- ⓪ 安全に責任を負う監督者がいない状況で、子供など補助を必要とする人を作業場に
- ⓪ 近づけたり、充電器および電源コードに触れさせたりしない
子供の手の触れるところで保管しない

■安全上の注意

 警告 死亡または重傷を負うおそれがあります。		
標記記号	事項	危害・損害
⊘	可燃性物質のある場所で使用しない。	可燃性物質が発火し、やけどを負うおそれがある。
⊘	粉塵やほこりが多い場所で使用しない。	粉塵やほこりが製品内部に混入し、製品が発火してやけどを負うおそれがある。
⊘	製品を落下させたり、投げたりして衝撃を与えない。	衝撃でリチウムイオン電池が発火し、やけどを負ったり、製品が損傷したりするおそれがある。
⊘	製品に異物を混入させない。	製品が発火してやけどを負ったり、製品が損傷したりするおそれがある。
⊘	直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置しない。	高温でリチウムイオン電池が発火し、やけどを負ったり、製品が損傷したりするおそれがある。
⊘	化学薬品、油、等のかかる場所で、使用、保管しない。	本体損傷、発火のおそれがある。
⊘	リチウムイオン電池が液漏れしたり、異臭がしたりした場合、使用を中止する。	リチウムイオン電池が発火し、やけどを負うおそれがある。
⊘	濡れた手で使用しない、雨中や水のかかる場所で使用、保管しない。	ケガや感電、本体損傷、発火の原因がある。
⊘	製品を熱源に近づけない。	高温でリチウムイオン電池が発火し、やけどを負ったり、製品が損傷したりするおそれがある。
⊘	製品の端子間を短絡させない。	感電によって負傷したり、製品が発火してやけどを負うおそれがある。
⊘	充電時間が仕様と極端に異なる場合使用を中止する。	リチウムイオン電池が発火し、やけどを負うおそれがある。
❗	付属の充電ケーブルを使用して充電する。	リチウムイオン電池が発火してやけどを負ったり、製品が損傷したりするおそれがある。

■使用上の注意

 警告 死亡または重傷を負うおそれがあります。		
標記記号	事項	危害・損害
⊘	可燃性物質のある場所で使用しない。	可燃性物質が発火し、やけどを負うおそれがある。
⊘	粉塵やほこりが多い場所で使用しない。	粉塵やほこりが製品内部に混入し、製品が発火してやけどを負うおそれがある。
⊘	製品を落下させたり、投げたりして衝撃を与えない。	衝撃でリチウムイオン電池が発火し、やけどを負ったり、製品が損傷したりするおそれがある。
⊘	製品に異物を混入させない。	製品が発火してやけどを負ったり、製品が損傷したりするおそれがある。

■電波の取扱いに関する注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。



1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発信を停止し、パーティションの設置などの混信回避処置を実施してください。

●Bluetooth® に関する注意

- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本製品およびBluetooth機器の電源を切ってください。
【病院内／電車内の優先席付近／航空機内など/引火性ガスの発生する場所/自動ドアや火災報知機の近く】
- Bluetooth技術を使用した接続時に情報の漏洩が発生しましても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はすべてのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 接続する機器によって、Bluetooth接続ができるようになるまで時間がかかることがあります。
- 本製品の無線設備は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として技術基準適合証明を受けているため、機器を分解/改造しないでください。日本国外で使用する場合は、その国の法律に従ってください。

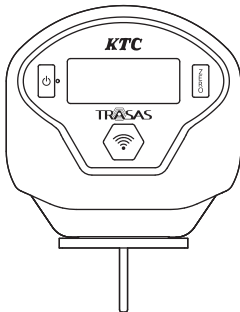
※Bluetooth ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。

■使用用途

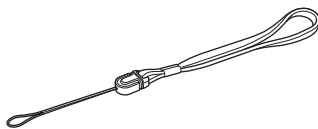
タイヤ溝深さの測定
測定値の履歴管理(作業トレーサビリティ用デバイス)

■入組内容

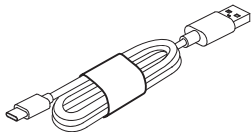
●本体 x1



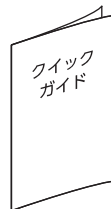
●ストラップ x1



●充電ケーブル x1

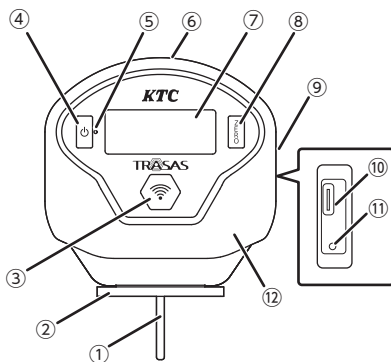


●クイックガイド x1



■各部の名称

- ① 深さ測定子
- ② 深さ測定基準面
- ③ 送信ボタン
- ④ 電源ボタン
- ⑤ 充電ランプ
- ⑥ ストラップ取付部
- ⑦ 表示部
- ⑧ ゼロボタン
- ⑨ カバー
- ⑩ USB Type-C ポート
- ⑪ リセットボタン

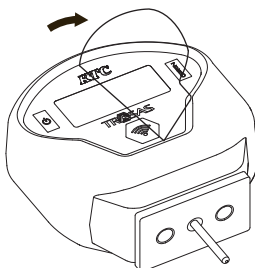


使用環境温度：0～40℃

使用方法

■使用前の準備

表示部の保護フィルムをはがしてください。



■本体の充電方法

●充電時のご注意



- ・製品の充電は周囲の気温が 0°C～40°Cの屋内環境で行う。
- ・付属の充電ケーブルを使用して充電する。
- ・ACアダプタはPSEマーク付き、指定定格出力のものを使用する。
(推奨充電器条件:5V 1A)
- ・使用しないときは充電ケーブルを製品から取り外し保管する。
- ・USBコネクタは、USB Type-CポートおよびACアダプタに対して、まっすぐ確実に差し込む。
- ・リチウムイオン電池の劣化を抑えるため、長期間使用しない場合でも定期的に充電する。
- ・製品の端子部に傷やほこりが付かないようにする。
付いた場合は、取り除いてから使用する。

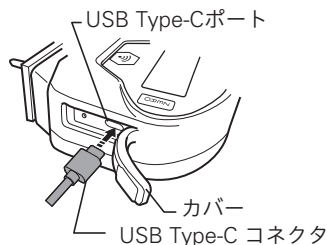


- ・直流電源やエンジン発電機を使用して充電しない。
- ・定格電圧5V以外の充電器を使用して充電しない。
- ・急速充電は行わない。(急速充電器は未対応)
- ・想定充電時間を超えても充電が完了しない場合は充電を中止する。
- ・付属の充電ケーブルに異常が見られる場合は使用を中止する。
- ・取り外す際は、ケーブルだけを引っ張って抜かない。
- ・充電ケーブルを挿した状態で端子に負荷をかけない。

1. 本体のカバーを開け、付属の充電ケーブルを使用し充電する。

充電ランプが“緑”に点灯し、充電が開始される。
充電が完了すると、充電ランプが消灯する。
充電時間：約 70 分

2. 充電完了後、本体のカバーを閉める。



■電源の入れ方 切り方

●電源を入れる

1. 電源ボタンを1秒以上押す。
ブザーがピッと鳴り、表示部がすべて点灯する。
「*」(Bluetooth®接続)が点滅し、ペアリングを開始する。
電源投入後は自動的に一定時間ペアリングモードに入る。



●電源を切る

1. 電源ボタンを2秒以上押す。
表示部が消灯する。
約4時間無操作状態が継続すると、自動的に電源が切れる。



■端末との接続

●初めて使用するときなど、登録された端末がない場合

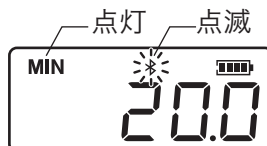
スマートフォン、タブレットの接続

1. スマートフォン・タブレットなどの端末のBluetooth®をオンにする。
2. タイヤデプスゲージの電源ボタンを長押しして電源を入れるとペアリングモードなり表示部に「*」(Bluetooth®接続)が点滅する



他の機器やアプリとペアリングをしていない事を確認する。
ペアリング中の機器やアプリがある場合、ペアリングできない。

電源投入後、一定時間経過した場合ペアリングモードが解除され、
「*」(Bluetooth®接続)が消灯する。
接続の際は送信ボタンを短押し、ペアリングモードに切り替える。



3. スマートフォン・タブレットなどの端末のデバイス一覧から接続したいシリアルナンバーGNDA020Aを選択する。

端末のBluetooth®機能をオンにして、製品が接続されると、ブザーがピピッと鳴り、「*」(Bluetooth®接続) が点灯する。



iOSの例



PCの接続

1. PCのBluetooth®をオンにする。

2. タイヤデプスゲージの電源ボタンを長押しして電源を入れるとペアリングモードになり表示部に「*」(Bluetooth®接続) が点滅する



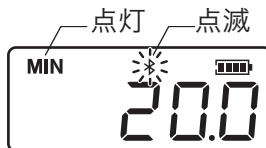
他の機器やアプリとペアリングをしていないことを確認する。ペアリング中の機器やアプリがある場合、ペアリングできない。

電源投入後、一定時間経過した場合ペアリングモードが解除され、「*」(Bluetooth®接続) が消灯する。

接続の際は送信ボタンを短押し、ペアリングモードに切り替える。



送信ボタン
押し

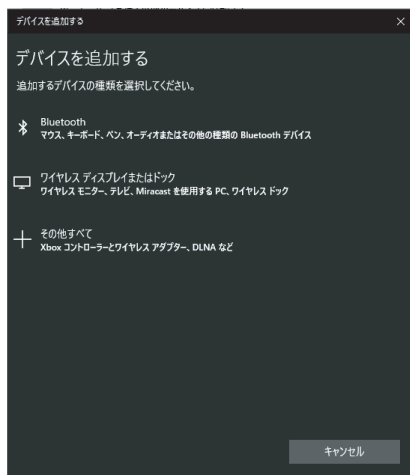


3.PCのデバイス一覧から接続したい
シリアルナンバーのGNDA020Aを
選択する。

端末のBluetooth®機能をオンにして、
製品が接続されると、ブザーがピピッと鳴り、
「*」(Bluetooth®接続) が点灯する。



Windowsの例



●登録された端末がすでにある場合

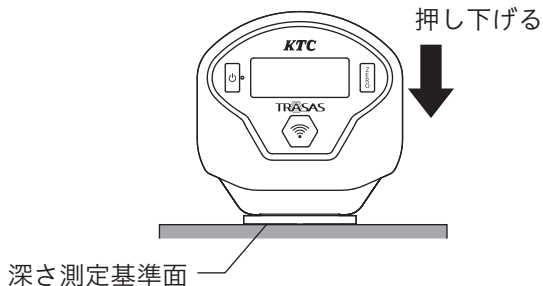
電源ボタンを長押しして電源を入れると自動的に接続される。



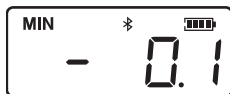
■測定準備

●基準点(ゼロ点)を設定する

1. 水平で平滑な台の上で深さ測定基準面を台に当たるまで押し下げる。



2. 実測値が表示される。



3. ゼロボタンを押す。
「AJST」、「0.0」の順に表示される。
基準点(ゼロ点)が設定される。



本体が傾かないよう注意する。

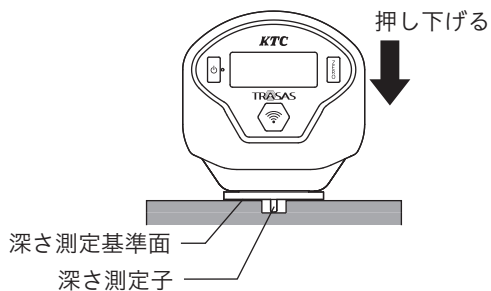
4. 深さ測定子を戻す。
実測値が表示される。



■測定方法

●最小値モード測定方法

1. タイヤの溝に深さ測定子を合わせ深さ測定基準面をタイヤに密着させるように押し下げる。



本体が傾かないよう注意する。

2. 深さ測定子を戻す。



ブザーがピーピーと鳴り、バックライトが“緑”に2回点滅する。

3. 測定値を送信する場合は送信ボタンを押す。



メンテナンスと保管方法

■本体のメンテナンス

本体に油・薬品や水が付着しないようにしてください。
付着した場合は柔らかい布で忠地に拭き取ってください。



・シンナー、ベンジン、アルコール、パーツクリーナーなどを使用しない。
変形や変質の原因になります。

■保管方法

-20~40℃の環境で直射日光、高温多湿を避けて保存してください。
長期保管の際は30~50%程度充電し保管してください。

■校正・アフターサービス

タイヤデプスゲージは定期的に精度確認(校正)をされることをお勧めいたします。
KTCでは以下のサービスを有償で承っております。
ご依頼は弊社製品取扱販売店様へお願いいたします。

(1) 修理・校正

精度確認(校正)、不具合箇所の修理を実施し、検査成績を含む修理検査表を発行しております。

(2) 校正証明書発行

精度確認(校正)、不具合箇所の修理を実施し、校正証明書を発行いたします。

●校正証明書とは

校正証明書は、測定器の示す値が国際基準に対してトレースされた標準器を基準とした検定器を用いて校正されたことを証明するもので、その測定器の精度、性能を対外的に証明することができます。

■修理依頼

●修理はご購入いただいた販売店または当社製品取扱店にご依頼ください。

■本製品の廃棄について

本製品にはリチウムイオン電池が内蔵されています。
本製品の廃棄は、廃棄する地域の自治体の条例に従い、適切に処理してください。

故障かな？と思ったら

■症状と対処法

分類	症状	考えられる原因	対処法
電源	電源が入らない	電池が充電されていない	充電する
	電源が勝手に切れる	電池が充電が少ない	充電する
		オートパワーオフ	再度電源を入れる
測定	表示値に誤差がある	基準点(ゼロ点)設定不良	基準点(ゼロ点)設定を行う
接続	接続できない	他の機器、アプリとの接続されている	他の機器、アプリとのペアリングを解除する

※Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。

京都機械工具株式会社

〒613-0034

京都府久世郡久御山町佐山新開地128番地

お客様窓口 TEL 0774 46 4159 FAX 0774 46 4359

電話受付時間 10:00-12:00 13:00-16:00

土・日・祝日および弊社休業日は除く

T075123-0

MADE IN CHINA



ktc.jp

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。